



# らびす蔵通信

## 「らびす」様の素晴らしさ！

暑中お見舞い申し上げます。福岡の炭鉱町を舞台とした映画「信さん・炭坑町のセレナーデ」が福岡県で先行公開されました。福岡県飯塚市出身の作家辻内智貴の「信さん」が原作で、監督・平山秀幸、脚本・鄭義信、主演・小雪による「人間をリアルに描く」を念頭に撮られた作品。人生という名の野っばらを全速力で駆け抜けた信さんと、その姿を温かく見守り続けた女性、そして信さんに憧れ続けた少年の感動の物語です。リアルさを追求されただけに、昭和38年当時の焼酎の登場シーンにと福徳らびすに出演の依頼があり、エキストラ出演させていただくことができました。とてもいい映画ですので、機会がございましたら是非ご覧下さい。今後の公開予定など詳しくは、信さんの公式ホームページでご確認下さい。「信さん・炭坑町のセレナーデ公式サイト」<http://shinsan-movies.com>

## 福徳らびす映画エキストラ出演



## あー素晴らしきかな朝倉市

17世紀頃、朝倉の土地では谷川の水を利用し限られた土地で稲作が行われるのみで、早ばつなどにより苦しい生活を強いられました。そこで福岡藩は水を安定して確保するため筑後川から治水し広大な原野の開田を進めました。筑後川を斜めにせき止めた「傾斜堰床式石張堰」、岩盤をくり貫いた水門「山田井堰（やまだいぜき）」を通り筑後川の水を「堀川用水」に導流させています。

三連水車は用水路と田んぼとの標高差が大きな場所に設置され、水車の直径は上車が4.76m、中車4.3m、下車3.98mで1分間に6トンの水を汲み上げることができます。水車は全国的にあります、三連水車はめずらしいものです。県指定の有形民俗文化財であり、平成2年にはこの菱野三連水車と三島二連水車、久重二連水車が「堀川用水路水車群」として国指定史跡に指定されました。

堀川は、農業用水路で本線約12Km、朝倉の水田の約半分660haが恩恵を受けていると言われ、水車郡によって潤う田は35haに及びます。この水車群が水を汲み上げるのは田んぼに水が必要である時期のみで、6月中旬から10月中旬頃まで。200年以上の歴史ある水車ですが、5年に一度新しく作り換えられます。今年もリニューアル工事を終え、夏の風物詩として訪れる人の目を楽しませてくれています。



## あさくらのシンボル三連水車

## 編集後記

## 夏場は炭酸割りの「らびきのハイボール」が好評。

地元の消防団に入団して7年、35歳で定年の為、今年度が最後の消防団活動になりました。訓練の中でもっとも過酷なのがポンプ操作大会。6月下旬から約1ヶ月の間ほぼ毎晩暑い中練習が行われました。この期間中のささやかな楽しみはやっぱりお酒。詰所に戻ると夜10時を回っていますが、きつい練習の後の一杯は格別でした。団員の間で飲まれるお酒の種類は、ビール、焼酎、梅酒などのリキュール類の順ですが、今年のトレンドとしてウイスキーのハイボールが加わり更に多様になってきました。特に夏場は炭酸飲料の爽快感が心地よく、焼酎の炭酸割りも色々挑戦しましたが、らびきのハイボールも好評で、飲み方の一つとして炭酸割りは今後もお奨めしたいと思っています。7月25日の大会では残念ながら上位入賞は果たせず、少しほろ苦いお酒になりました・・・